

め、扉の隙間にゴムパッキン施工など安全対策実施の説明を受けました。

こうした取り組みから、泊発電所においては福島のような事故の可能性はかなり低いと感じました。

しかし、リスクはゼロではなく安全・安心の対策を進めることが重要であると感じました。

小樽市

障がい者支援施設の取り組み

小樽四つ葉学園は、「社会福祉法人小樽四つ葉学園」が知的障がい者の支援施設として入所支援、生活介護事業、ケアホームなど、障がいの程度に合わせて各種施設運営を行っているほか、保育

所（園）の受託経営も行っています。

法人の基本理念は四つ葉のクローバーにちなみ、以下の4つの理念を法人の礎としています。

1. 利用者の人権を擁護する。
2. 良質で適切な支援と援助を行う。
3. 地域生活を推進し、自立と社会参加を図る。
4. 法人の経営基盤の強化を図る。

今回の視察において、発達障がい、精神障がい、自閉障がい、重度障がいのかたがたが多いことが施設を訪れ感じられました。

50年の歴史をもつ小樽四つ葉学園では、障がい者それぞれの状況に応じたきめ細かい支援が行われ、障がい者支援の在り方としてたいへん参考となり、本町

における知的障がい者の支援体制の充実に向け検討していく必要があります。

美唄市

障がい者雇用の取り組み

日本理化学工業株式会社は、昭和12年2月にダストレスチヨークを製造する会社として設立され、以後75年間チヨークを作り続けています。

昭和34年から障がい者の雇用が開始され、現在は従業員73名のうち、知的障がい者54名を雇用し、障がい者雇用率は7割を超えています。

昭和42年9月に障がい者の雇用を求め動かされて、年間3000万本を製造するチヨーク工場が

開設されました。現在、従業員は29名で、そのうち知的障がい者が23名雇用されています。徹底的に障がい者雇用にこだわりの、全従業員の物心両面の働く幸せを追求し、よりよい地域社会の実現に貢献しています。

新得町においても、障がい者が生き生きと働ける場所の確保や、夢と希望を持つて地域で生活できる仕組み作りが必要と考えます。



日本理化学工業美唄工場

委員会レポート

産業文教常任委員会

調査日

平成24年9月26日

から28日

浦白町

神内ファーム21の施設型農業と企業化

神内ファーム21は、平成9年に600[㌦]の土地を取得し、併せて農業の担い手育成を図るため、教育・実習施設の整備と就農支援の取り組みを行っていません。平成9年に130億円を投じ植物生産工場、ハウス、牛舎、研究所の施設を整備し、北海道農業の新たな可能性を見出すため、冬を克服する「克冬制夏」をコンセプトに施設型農業による安定生産を目指し、マンゴーなど南国果物の温室栽培をしています。また、放牧型赤毛和牛の